

2023年(令和5年)8月20日(日曜日)

「道路巡検」光るアイデア

最優秀・甲田さん、全国へ 室工3年

ロボットアイデア甲子園北海道大会が19日、室蘭市輪西町の市民会館で開かれた。市内の高校生ら8人が出場し、産業用ロボットの新たな使い方についてプレゼンテーションした。審査の結果、室蘭工業高校3年の甲田真夢さんが最優秀賞を受賞し、12月2日に東京ビッグサイトで開催される全国大会の出場権を獲得した。

(奥野浩章)



最優秀賞を受賞した甲田さん(前列右から4人目)ら
出場者と大会関係者

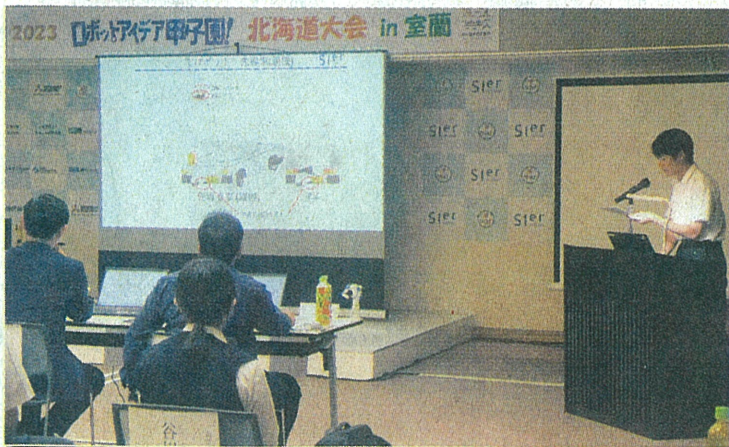
ロボット甲子園 初の北海道大会

同大会は、高校生や高専生が産業用ロボットを使用したシステムを見学し、セミナーを受講して知識を深めるとともに、新たな使い方のアイデアを考えるコンテスト。北

海道大会は初開催で、F A・ロボットシステムイノベーション協会主催、太平洋電気共催、室蘭民報社などが後援した。

プレゼンでは、ロボットを作るのと思った理由、図、仕様、活用場面、販売金額・予定数、経済効果などを発表。青山剛市長ら4人が表現性、創造性、実現性など6項目を審査し、質疑応答も行われた。

甲田さんは、自転車運転中の障害となる道路上の段差、雑草、舗装の劣化などに着目。360度3Dカメラを搭載した白鳥型の先導車を親機に、ロボットアームを搭載した



プレゼンを行う甲田さん

最優秀賞以外の受賞者は次の通り。
▽準優秀賞 大谷遼翔(室蘭清水丘高3年)▽室蘭市長賞 草島蓮(苫小牧工業高1年)▽室蘭商工会議所会頭賞 伊藤陸(室蘭清水丘高3年)▽ノーステック財団未来のエンジニア賞 工藤渉(室蘭工業高3年)▽太平洋電気社長賞 谷川友輝和(海星学院高1年)▽敢闘賞 加藤白慎(室蘭工業高3年) 洞ヶ瀬勇樹(日本工学院北海道専門学校1年)

除草車や異物回収車などをそれぞれ子機とする「道路巡検親子機(スワン)」を提案。「路面状況を無線通信で直接管理者へ報告できるので、円滑な道路整備が期待できる」などと発表した。

青山市長は「社会で問題になっている現状や同じようなロボットがないのかを調べ、発表しているところが素晴らしいと感じた」と講評。太平洋電気の松見哲也代表取締役社長は「全国大会を見に行ったことがあるが、プレゼンの内容は引けを取らない内容だった」とたたえた。